

# パソコン教室の最新情報

文字で始まった2021年、今月は文字入力のお話。パソコンでストレスがかかる作業といえば「文字入力」です。もっと楽になれば、より作業に集中できます。

## 文字入力をもっと楽に！

パソコンで最も面倒な作業は「文字入力」だ  
/ と思います。タイプのプロでもない限り、話すように文字を入力することは、なかなか至難の業です。が、最近は機能も良くなり、パソコンでも音声入力ができるようになってきました。その他、文字入力をサポートしてくれる機能をいくつかご紹介。

### ① 音声入力

Office ソフトの Word、PowerPoint、Outlook には、音声により文字入力ができる仕組みがあります。「ディクテーション」という機能です。ディクテーションには書き取りといった意味があります。

オンにするとパソコンのマイクがオンになり、話した言葉が読み取られていきます。瞬時に文字変換が行われ、文書として画面上に作られていきます。

「は「くてん」、「は「とつてん」と発音すれば入力できます。ぜひ使ってみましょう。入力がかなり楽になります。（自動変換なので、当然誤変換もありますので、修正は必要となります。）



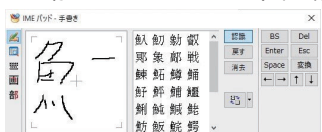
### ② 単語登録

よく使う単語や文章、変換しにくい固有名詞などは、語句登録して使ってみましょう。例えば「いつもお世話になっております。」のようなよく使う文章。この文章のよみを「あいさつ」と登録すれば、「あいさつ」と入力すると登録した語句に変換できます。



### ③ 漢字検索

読みがわからない漢字を入力する場合、辞書機能を使いましょう。「Minipatt」を使うと漢字を探すことができます。手書きで探すことや、部首で探すこともできます。



### ④ キーの割当

普段あまり使わないキーを「機能キー」として割り当てられます。通常、

日本語入力のオン／オフの切り替えは「全角／半角」キーで行いますが、それを「無変換」キーでも行えるようにできます。4種類のキーを割り当てることができま

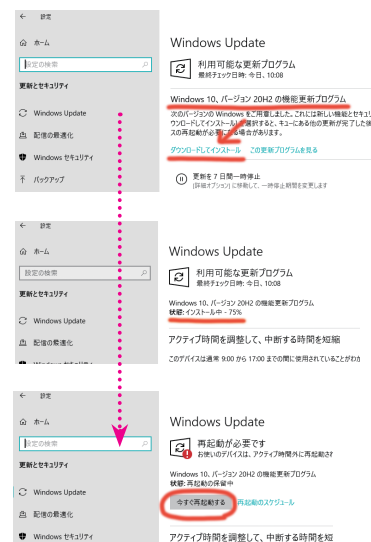
※便利に使って文字入力のストレスを軽減しましょう。

## Windows Update を行う

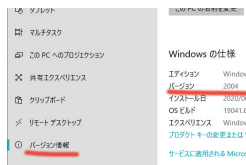
Windows Update は、月に2回のセキュリティや機能修正の定期的な更新と、年2回の大型改定の更新とで行われています。

定期的な更新は、パソコンの終了時などに行われますので、特に行う作業はないのですが、大型の更新は手動で行わなければならない場合があります。最新の更新もそれに当たり、更新処理を行う必要があります。

現行の Windows 10 のライフサイクル（保守期間）は、大型の更新が行われてから「18から30か月」です。更新しないと10といえども保守期間が終了してしまいます。最新のバージョンは「20H2」です。バージョン「1890」では保守期間は終わっています。必ず更新（Update）は行っておきましょう。



更新処理には時間を要する場合もあります。余裕があるときに行いましょう。



バージョンの確認

アップデートは、「設定」更新とセキュリティから行えます。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month